

日本木材学会 男女共同参画委員会

男女共同参画社会とは

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

(男女共同参画社会基本法第2条、平成11年)

男女共同参画の実現のために、男女共同参画基本法(平成11年公布施行)が制定され、平成12年に男女共同参画基本計画が閣議決定されました。平成13年には内閣府に男女共同参画局が設立され、以降、男女共同参画を推進するため、各省庁に男女共同参画関連の予算が計上されました。平成23年度の男女共同参画基本計画関係予算の総額は約6兆7千億円、うち2,333億円が科学技術・学術分野における男女共同参画に当てられています。この中には、大学や独立行政法人に關係する文部科学省科学技術人材育成費補助事業(女性研究者活動支援事業)や、文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成事業)が含まれています。

日本学術会議では平成12年に「女性科学者の環境改善の具体的措置について」(要望)及び「日本学術会議における男女共同参画の推進について」(声明)が採択されました。これを受けて、各学協会において男女共同参画の取り組みが開始され、平成14年男女共同参画学協会連絡会(当時12学協会参加)が発足、各学協会の男女共同参画の連携協力を図っています。現在、男女共同参画学協会連絡会は、正規加盟学協会数43組織、オブザーバー加盟組織25組織となりました。

日本木材学会では平成22年の一般社団法人化を機に、男女共同参画担当理事を置き、男女共同参画学協会連絡会に正式加盟しました。

各学協会の活動例

(共通した取り組み)

- 推進体制整備(男女共同参画委員会の設置)
- 広報・啓発・普及(シンポジウム、セミナー、ホームページ)
- 研究育児の両立支援(保育室、託児室の設置)
- 次世代育成支援(女子中高生夏の学校)
- 男女共同参画学協会連絡会参加(アンケート調査、シンポジウム)

(独創的な取り組み)

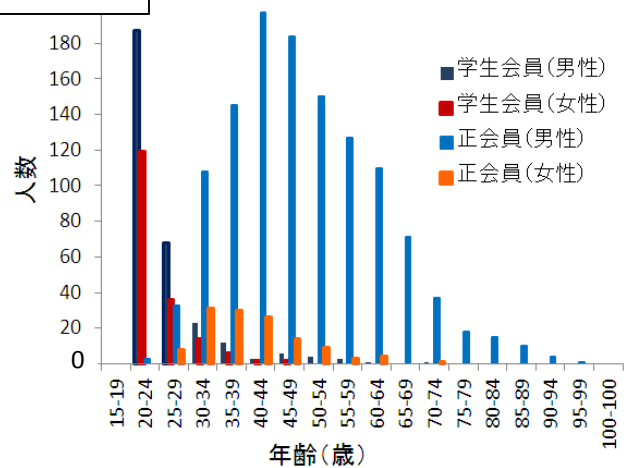
- 学生のためのキャリアデザインセミナー 化学工学会
- 学会役員・委員への女性登用(ポジティブアクション) 日本化学会
- 国際交流貢献(女性科学者・技術者を顕彰する賞) 日本化学会
- アドバイザー制度 日本生理学会
- 就職支援ロゴマーク 日本動物学会
- 雇用・業績評価・次世代育成・女性比増加の目標設定 日本動物学会
- 国際学術機関との交流 日本物理学会
- 年会開催地の自治体就労支援との共催 日本結晶学会
- 若手・男女共同参画・産休育休取得者の会費減免 地盤工学会
- サポーター制度 地盤工学会

文科省支援事業採択機関(大学、独法)の活動例

- 推進体制の整備(男女共同参画室の設置)
- 広報・啓蒙活動(シンポジウム、講演会、セミナー、ホームページ)
- 育児・介護・仕事両立支援(勤務時間、休暇制度、保育設備、IT環境整備、支援員)
- 次世代育成支援(女子大学院生を活用した女子中高生向けセミナー)
- 女性研究者の拡充(ポジティブアクション、インセンティブ)、
- 育成・支援制度(カウンセラー、アドバイザー、メンター制度、ロールモデル、交流会、研究費)

本学会における男女比率

会員構成



昨年度大会

